

アジア都市TOD寄付研究部門

[アジア都市TOD]

人間・社会系部門 / アジア都市TOD寄付研究部門

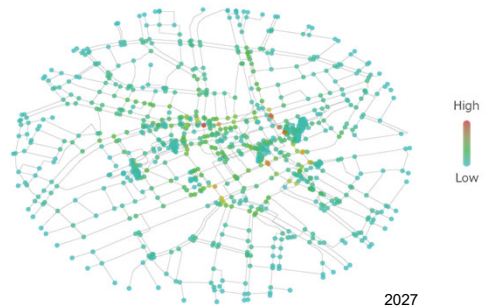
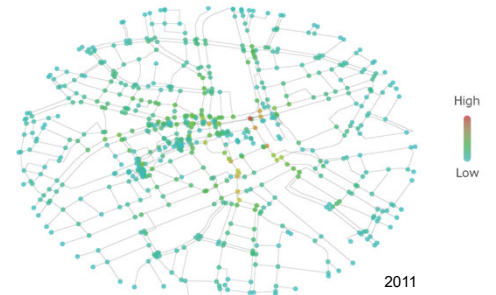
Department of Human and Social Systems
Asian Urban TOD Research

都市TOD工学

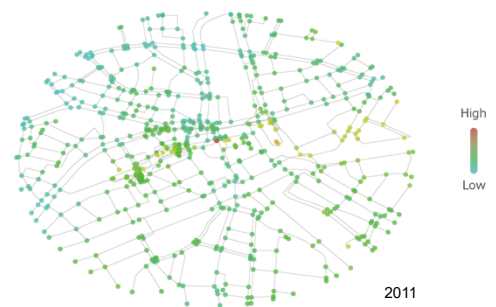
<https://www.hulab.iis.u-tokyo.ac.jp>



渋谷駅周辺地区半径500m徒歩圏における歩行者ネットワーク
Pedestrian Network within 500m Walk from Shibuya Station Area



開発前後媒介中心性変化
Betweenness Centrality before and after Redevelopment



開発前後迂回率の変化
Detour Rate before and after Redevelopment

国際連合は2050年までに、世界で1,000万人以上の人口を抱えるメガシティの数が43に増加し、そのうちアジアの都市が60%を占めると予測しています。

メガシティは、大規模な人口移動、輸送、インフラの整備、複合機能の集約、および安全性を保証できないといけません。その中でも、交通システムと都市開発を如何に協動的に計画していくのが最大の課題の一つとなるでしょう。高効率かつ大量の公共交通サービスを提供できる、「公共交通指向の都市開発」を提唱するTODモデルは、メガシティにおける資源の効率的な配分のための最善の解決策と考えられます。

世界最大の都市のひとつである東京では、高密度の鉄道網に支えられた大都市圏での開発、高度な立体交通システムを特徴とする再開が進められており、「大都市TODモデル」としてアジアの都市の見本になります。本研究室では東京における都市開発を解析し、アジアの都市の計画と発展に寄与することを目的としています。